



温清飲 (うんせいいん)

【処方コンセプト】肌の色ツヤが悪く、手足の裏がほてるタイプの湿疹、生理不順、神経症などに。

このタイプの方は、午前中は疲れているわけではないが、仕事や体を動かして午後あるいは夕方から疲れてくる。疲れると手足の裏がほてり、肌の色ツヤも悪くなり、精神的に興奮しやすく、落ち着きがなくなることが多い。

◆温清飲は、「血虚血熱」の病態から起こる諸症状に用いる。

◆肌の色ツヤが悪く、目がかすむ、手足のしびれなど(血虚)に伴って、のぼせ、イライラ、口渇、目の充血、発疹など(血熱)をきたす。また、逆に慢性の炎症や出血および脳の充血や自律神経系の興奮(血熱)に、全身的な栄養不良状態(血虚)を伴う。

◆漢方一貫堂医学の解毒証体質(外界からの刺激で炎症を起こしやすい。アレルギー体質など)に用いる荊芥連翹湯、柴胡清肝湯などの処方はこの温清飲がベースになり、アトピー性皮膚炎などの慢性炎症や体質改善によく応用される。

◆肌の色ツヤが悪く、手足の裏がほてるタイプの湿疹、生理不順、神経症などに用いる。

【処方構成】 8味

温清飲は、四物湯と黄連解毒湯の合方で、四物湯で内を温め、黄連解毒湯で外の熱を清す（冷やす）意がある。四物湯は、滋養強壯、血液の循環を改善し月経を調整し、鎮痛・鎮静などに働き、体を温めたり、肌をしっとりとさせる。黄連解毒湯は、消炎・解熱・鎮静・止血・利胆・降圧などの作用があり、体を冷やし、熱感や炎症をとる。合方することで、それぞれの処方の寒熱が緩和されて、用いやすくなっている。

	解表					清熱					利水			補血		駆瘀血		理気		配合生薬数													
	防風	荊芥	白芷	柴胡	薄荷	蝉退	牛蒡子	生姜	桂皮	黄連	黄柏	黄芩	山梔子	連翹	苦参	石膏	知母	桜皮	木通		茯苓	蒼朮	独活	当归	芍薬	地黄	胡麻	川芎	桃仁	牡丹皮	桔梗	枳実	甘草
温清飲										○	○	○	○											○	○	○							8

